

# 高校数学 1

姫 伯邑考

2014 年 01 月 01 日

# 第 1 章

## 数と式

### 1.1 整式の加法・減法・乗法

#### 単項式とその係数・次数

数や文字、及びそれらをかけ合わせてできる式を**単項式**という。単項式において、数の部分をその単項式の**係数**といい、掛け合わせされた文字の個数をその単項式の**次数**という。

2 種類以上の文字を含む単項式において、特定の文字に着目して係数や次数を考えることがある。この場合、着目した文字以外の文字は数と同様、すなわち係数として扱う。